

第5学年 総合的な学習の時間学習指導案

活動場所 5年梅組教室

授業者 徳永 雅士

児童数 29名

- 1 探究課題 地域自然・防災
- 2 単元名 思いを繋ぐ ～昔から現在 そして未来へ～

3 単元の目標

身近な地域が災害と密接に関わりながら今日まで繋がっていることを知り、災害について自分たちができることはないかと探究する活動を通して、地域の一員としてこれから来るであろう災害への備えを考えるとともに、これからの生活について考えたり行動したりすることができるようにする。

4 単元について

本学級の児童は、困っている友達を見かけると、声をかけたり、助けようとしたりする児童が多い。授業の中では、多角的な視点から様々なアイデアを思いつき、積極的に発表したり、表現したりしようとする児童もいる。朝の活動で行っているペアでの話し合いの話題として、各地で起こる災害の被害について意見を交わすことがあり、児童の中でも災害についての興味や関心が高まってきているように感じる。一方で、1学期に実施したアンケートでは、自分たちの住んでいる池田町が災害と深い関係があることを知らなかったと23%の児童が回答していることから、災害に対する認識の低さが感じられる。

本校は、中央構造線のすぐ近くに位置しており、校区内で活断層を見ることができる。また池田町の景観は、土砂崩れや、近くを流れる吉野川の影響などを多く受けており、災害とは密接な関係性がある。これからの池田町を担う児童が災害への危機感や防災について真剣に向き合い、考え、行動することで、地域社会への安全活動の一助になればと考える。

本単元では、池田町と災害とのつながりについて考えていく。災害への危機感や正しい知識、判断ができるように調べたり考えたりすることで、実際に災害が起きたときにも一人一人が率先して、地域のために行動することができる児童を育てたい。

5 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	① 地域の自然や災害に目を向けながら、災害の危険性を感じ、災害を防ぐために様々な人々が協力し、活動していることを理解している。 ② 情報を目的や対象に応じて必要な情報を収集している。 ③ 地域に目を向け、これから起こる災害への関心を高めることができたのは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	① 体験活動の経験や地域の人の思いや願いから、解決方法や手順を考え、見通しをもって追求している。 ② 目的に応じて情報を収集するための方法を選んでいる。 ③ 視点を明確にして、収集した情報を取捨選択し、考察している。 ④ 目的や相手、意図に応じて工夫してまとめ、表現している。	① 自分と異なる意見や考えがあることに気付き、多様な意見や立場を尊重しようとしている。 ② 課題解決に向け、他者と協働して探究活動に取り組み、その大切さに気付こうとしている。 ③ 地域の自然や防災に関心をもち、課題解決をするために自分にできることを実践しようとしている。

6 指導と評価の計画(70 時間)

小単元名	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1 感じよう 昔からの地域の自然 (15 時間)	・池田町と身近な災害について考える。 (3 時間)	①	①		・ワークシート
	・「にし阿波の傾斜地農耕システム」が行われている傾斜地のでき方をインターネットやパンフレットで調べ、土砂災害とのつながりがあることについて考える。 (3 時間)	②	②		・ワークシート
	・「吉野川」を調べることで、水害とのつながりがあることについて考える。 (3 時間)	②	③		・ワークシート
	・「中央構造線」について調べることで、断層とのつながりがあることについて考える。 (3 時間)	②	③		・ワークシート
	・ゲストティーチャーの方から、池田町の景観は様々な災害と密接に関わってできていることや、今後も災害と関わっていかねばいけないことを学ぶ。 (3 時間)	①		①	・発言内容 ・振り返り
2 考えよう 今身近に迫る災害 (30 時間)	・災害について考えていくために、「備え」「起こったとき」「起こった後」の3つについてできることを調べ、考える。 (8 時間)		②	①	・ワークシート ・発言内容
	・池田町が災害に備えるためにどのような取組をしているのかを見付ける。 (19 時間)	①		②	・振り返り ・ワークシート
	・災害について学んだことをまとめる。 (3 時間)		④		・新聞 ・振り返り
3 深めよう 未来のためにできること (25 時間)	・調べたり体験したりしたことを、どのようにみんなに伝えるかを考える。 (本時 2/5 時間)		④	③	・発言内容 ・ワークシート
	・学んできたことを伝えるために防災フェスを実施する。 (16 時間)	③			・制作物 ・表現
	・単元を通して学んだことを振り返り、災害が起こったときに自分たちが地域を守る意識をもつ。 (4 時間)	③		③	・作文

7 本時

(1) 目標 今まで得てきた知識や思いを元に、相手意識をもってどのように伝えることができるか考えることができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準及び評価方法
1 今までの学習を振り返り、本時の見通しをもつ。	○今まで体験したり学んだりしたことを想起することにより、意欲的に学習に取り組めるようにする。	
2 自分たちが体験したことや知ったことを伝える方法を考える。	○誰を対象にして行うのか(幼稚園児、地域の方々など)を明確にして考えることができるようにする。	目的や相手、意図に応じて工夫してまとめ、表現している。 (思④：発言内容・ワークシート)
3 考えたことを全体で共有する。	○他の班の良い点や改善点を考えることができるようにする。 ○グループの考えた内容を相手に伝えることができるようにする。	
4 本時の振り返りをする。	○次時の活動につながるように振り返らせる。	